

Focus Vol.61

長洲町でキラリ輝く人たち

のじり いっ き 野尻 一輝さん (15歳 腹赤)

腹栄中学校 陸上部 主将

【主な成績】

平成29年度熊本県中体連陸上競技大会100m(2年生) 優勝

平成30年度熊本県中学校総合体育大会100m 優勝

平成30年度熊本県中体連陸上競技大会100m 優勝

第49回ジュニアオリンピック陸上競技大会100m
熊本県代表として出場 100m自己ベスト 11.09秒



◀腹栄中男子リレーメンバーと練習に励む野尻さん



「県では1位でも全国では全然通用しませんでした」と悔しさをにじませるのは腹栄中学校3年生の野尻一輝さん。陸上部を牽引するキャプテンだ。10月に日産スタジアム（神奈川県）で開催された第49回ジュニアオリンピック陸上競技大会の男子100mに熊本県代表として出場した。熊本県予選を見事優勝し、陸上の道を歩む中学生にとって一番の目標とも言える全国大会への出場。大会では見事予選を通過し、準決勝に進出。惜しくも決勝進出は逃したが、県代表として見事な走りを見せた。

「目標の10秒台は出せなかったけれど、コーチと約束していた準決勝には進めた。約束を守れてよかったです」とすがすがしい笑顔で話してくれた。

きっかけは子ども会リレー

野尻さんが陸上を本格的に始めたのは小学4年生の頃。町民体育祭の子ども会対抗リレーで、前を走る選手を追い抜けなかったことが悔しくて荒尾JAC（陸上クラブ）に入った。もともと走るのが速いほうではなかったという野尻さん。中学からは陸上部に入部し、陸上部と荒尾JACでの練習で実力を磨いてきた。

中学2年生で初めての県ナンバーワン

中学2年生になり、部活やクラブ

の練習とは別に自主的に体幹トレーニングを始めた野尻さん。YouTubeで陸上選手の動画を見て勉強したという。その成果もあり、県中体連陸上競技大会の100m（2年生）で自身初の県大会優勝を手にし、3年生となった今年度も優勝。県ナンバーワンとして目標であったジュニアオリンピックにも出場した。

「誰よりも速くゴールに入る楽しさと、自己ベストを更新したときの達成感が陸上の魅力です」と語る野尻さん。1位でゴールしたからこそ見ることが出来るゴール横の電光掲示板で、自身のタイムを見ることも楽しみのひとつだというのが課題もある。スタートでの加速に自信をもつ野尻さんは、後半までスピードを維持するスタミナをつけることが今後の課題だという。

感謝の気持ちを胸に活躍の舞台は高校へ

「これまで家族や友人、陸上を教えてくれた人たちに感謝しています。ジュニアオリンピックに出場するとうー一番大きな目標に達成し、自分の走りと結果で恩返しできたことがうれしいです」と笑顔で話す野尻さんはことしの春から活躍の舞台を高校に移す。「100mに限らず200mでも勝てるように練習していきます」と話す野尻さんの目はいつも前を向いている。